

英語英文勉強会

『わたし』の居場所： 世界文学を紡ぐ女性たち オンライン開催

2021年3月27日(土)13:30~15:30

講師	早川 敦子 氏 (津田塾大学 副学長)
開催方法	Zoom ※ご自宅等からオンラインでご参加ください
対象	同窓生、関係者
定員	先着40名 (申込順)
参加費	無料

期せずして到来したコロナ禍の分断の時代に、あらためて越境性をもつ「世界文学」が光を放っている。とくに女性作家たちは、歴史の中で自分自身の居場所を探す長い旅を通して、「わたし」を語り、世界を語ってきた。近年注目されてきた女性作家による「自伝」の試みを手がかりに、津田梅子が出会った「世界」の風景にも触れながら、過去から未来に繋がる女性たちの姿に光を当てる。



早川 敦子 (はやかわ あつこ)

1982年津田塾大学英文学科卒。1990年同大学院博士課程満期退学。エディンバラ大学で社会学修士。オックスフォード大学大学院に学ぶ。1991年津田塾大学学芸学部専任講師、1995年助教授、2008年教授、2020年副学長。専門は現代英語圏文学、翻訳論。ホロコースト文学や英国児童文学の翻訳のほか、平和研究を通して学生たちと共に吉永小百合の原爆詩朗読会開催やEva Hoffmanの日本への招聘など、平和活動に貢献。2020年より、国際・教学担当の副学長。

[著書] 『翻訳論とは何か』(彩流社)、『世界文学を継ぐ者たち』(集英社新書)、『吉永小百合オックスフォードで原爆詩を読む』(同)ほか。翻訳書に『希望の鎮魂歌』(岩波書店)、『記憶を和解のために』(みすず書房)、*The Second Movement* (Hiroshima/Nagasaki/Okinawa/Fukushima 徳間書店・英訳)、児童文学では『インディゴをさがして』(小学館)、『こどもの時間』(クルミド出版)、『人形の家にくらしていたネズミ一家のおはなし』(徳間書店)など。

参加申し込み手順 ※申込先着順です

1.同窓会HPから申し込む。

<http://www.tsuda-jyuku.org/event/announce/97>

2.自動返信メールが届く。

参加申込受け付けました。自動返信メールが届かない場合は ogoffice@tsuda-jyuku.org までご連絡ください。

自動返信メールや事務局からのメールが迷惑メールフォルダに入る場合がありますのでご注意ください。



問い合わせ先

一般社団法人津田塾大学同窓会事務局 Eメール：ogoffice@tsuda-jyuku.org 電話：03-3478-1972 (日祝を除く 10:30~15:30)